

固定時間制 簡単まとめ

 Money Forward クラウド

※当資料に従うことで、法令違反がないことを保証する資料ではありません。
※あくまで参考としてご利用いただくことを想定している資料です。実際の制度内容は国の資料等をご確認ください。
※当資料は、2025年5月時点の内容となっております。最新の情報は国の資料等をご確認ください。

固定時間制 簡単まとめ

固定時間制とは

法令上の明文化はなく、企業が「毎日同じ始業・終業時間」を定める制度。実務上は「標準労働時間制」とも呼ばれ、2023年の調査で企業の約40%が導入済み。

固定時間制のメリット

- **労務管理が簡単**：出退勤が統一され、勤怠・シフト管理が効率化
- **賃金計算が明確**：所定労働時間が一定で計算ミスが減少
- **生活リズムの安定**：ワークライフバランスの向上で満足度・定着率UP

固定時間制 簡単まとめ

固定時間制のデメリット

- ・業務量の変化に弱い：繁忙期対応に残業が発生しやすい
- ・緊急対応が困難：全員一斉退勤で急変時の即応力に課題
- ・研修・教育機会の制約：時間外に対応せざるを得ないことも

固定時間制と変形労働時間制の違い

項目	固定時間制	変形労働時間制
労働時間	毎日同じ	繁忙に応じ変動可能（平均で週40時間内）
導入要件	就業規則の定義で足りる	労使協定の締結や就業規則の変更が必要
柔軟性	低い	高い

固定時間制 簡単まとめ

残業の割増賃金（労基法第37条）

- 時間外労働：25%以上（8時間/日・40時間/週超）
- 深夜労働（22～翌5時）：25%以上
- 休日労働（法定休日）：35%以上
- 月60時間超の残業：50%以上（2023年4月～中小企業も対象）

固定時間制の導入ステップ

1. 就業規則の変更：労働時間・休憩・休日の明記が必要
2. 勤怠体制の整備：ICカード等での客観的記録推奨
3. 全社への周知：説明会・社内報・相談窓口で対応強化